



少子化の流れは変えられる

少子化が進み、このままでは、年金や介護など大変だ・・・と自公政権・厚生労働省は年々福祉を削減して来た。一方で、景気対策の「公共事業」で、道路や箱物を作つてきた。三十年後には人口も減り、車も減る。こんなに道が要るのか？三十年後のメンテナンズなど考えずに。

少子化の流れを

さて、派遣労働の若者は、賃金が低く、雇い止めの不安がある。更に、今年四月の消費税引き上げで三%賃下げされたようなもの。奨学金の返済も大変で結婚できない。結婚しても教育費を考えると子供を作れない。正規雇用でも毎日毎日の残業。八時間労働はど

こき使って大儲けしているのが大企業、大株主の大金持ち達。少子化は自然に起きたのではない。子育てさえまならない雇用条件を押しつけた歴代自公政権の政策の結果だ。

対策は？

まず派遣から正規雇用に切り替えさせ、残業は非常時だけに制限しよう。そうすれば雇用も増える。雇用が増えれば消費も増え景気も良くなる。景気の好循環が生まれる。

教育費の公費負担を増やし、奨学金も給付型にすれば教育ローン地獄もなくなる。

こうすれば若いカップルも増え子供も増え少子化の流れを変えられるのではないか。

みなさんはどう思われますか？

嵐の小浜海岸

福井県小浜市
二〇一四年一〇月



十月の写生会で小浜を訪れた。その最中、台風十九号が本州の南を通過。

台風の通過した後、通り過ぎた台風を追いかけながら吹く風がある。「吹き返し」だ。その風が日本海の側から吹き寄せていた。

その風にあおられて、激しい波が次から次と押し寄せる。小浜の海岸の砂は白ないしは薄茶色だ。その為だろうか、海底の砂を巻き上げる激しい波は絵のように茶色い。

広島県に生まれた私が神奈川県大磯に引越したとき、海岸の砂の黒さに驚いた。広島瀬戸内海沿岸は風化した花崗岩の砂で、白ないし薄茶色だったから。

小浜に来て、再び生まれ故郷の砂を見たよな気がした。